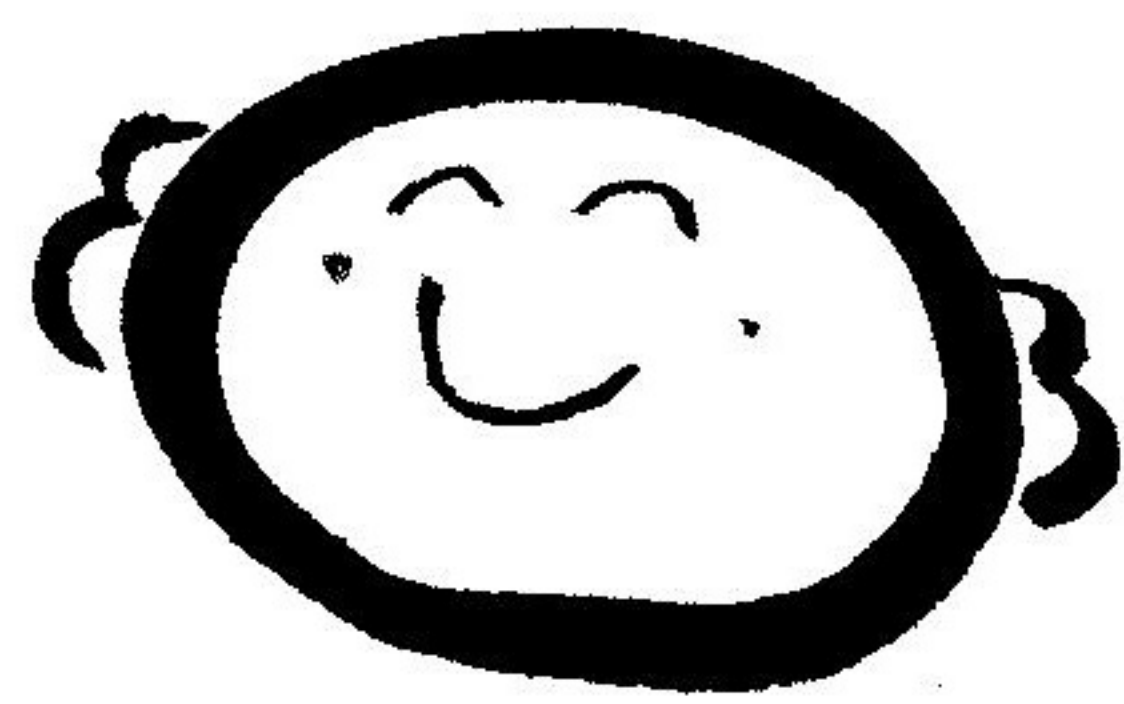


作者: 鳥越 介順

①いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越



気づいたことや感じたことを
自由気ままに書かせて頂いて
います。オリジナルニュースター
です。お時あるときにでも
お読みいただければうれしいです。



逆单身となる

とうとう恐れていたことが現実となりました。
子どもたち2人とも東京へ行ってしまい夫婦2人
の生活となり1年間。今春お寮→アパート
となる娘の手伝いと言いながら東京観光
マップを片手に妻が2週間東京へ行って
しまったのだ。私の一人暮らしの始まりとなった。
料理も掃除も好きだが... 一人となると
淋しいものである。

徐々に家事も面倒になり効率も考えはじめ
着替えは洗濯もの干し竿がダンス代わり。
食器も流し台シンク横からダイレクトとなり
なるべくお皿を使わないように大皿にいろいろと
盛り。生ものは残ると厄介なので
なるべく買わないように... と変な工夫が
生まれてくる。せっかく一人の時間がたくさん
あるので自分のやりたいことを探してみよう...

自分のやりたいこと

何だろう

一人となり考えみた

“自分のやりたいこと”

とて思いつくままに やってみることにした

温泉やスパ銭湯へ行ったり ☺
お酒を飲むとか... ☺

好きなことだが... ホックリさっぱりとして
気分がいいことですが... ワクワクする

やりたいことではなかったのです。

“やりたいこと”とは 一人でも
少々ハードルが高くても 行動に移せるような
ことかもしれない。とてまた考える ☹

結局 余りがワクワクして出来たこと

- ・料理のパスタ作り
- ・セミナーの資料作り
- ・絵手紙 描き

日ごろは日常生活に追われ、考えることや
行動できる人も少ない中、少し環境を変えて
考える時間ができたことは有難いことでした。

価値観の変化

私たちの価値感としては昔から“できるビジネスマン”
(45才)

としてのキーワードは「忙しい」「分刻みのスケジュール」
とて極め付けに「この1ヶ月は休み無しだよ」なんて
言われると あー!! 超できる感があり、カッコいいと
思いました。ところが今の世代の価値観は
変わってきているようです。

「忙しい」「休みなし」→「うわあ、かわいそう」と
なるようです。えっ!! ☹ どうなんですか
かわいそうなんなんですか。

カラオケ心理学に学ぶ 時代の流れ

～ 強要と押し付けの時代の終り～

懇親会の2次会などにカラオケに行く機会も
タタいと思えます。その時の行動で全員に歌を
歌わせようとする行動が時代に合わなくなっ
てきているようです。

「いいじゃないかみんなで盛り上がりたいの!!」と
思う私も古い人になりつつあるようです。

個の思いや自由を大切にする人々が土壌えた時代ならではの
感覚のようです。このカラオケの場面と同じようなことを

会社や家庭やチームの中でやっていない
だろうか... と考えさせられます。